

2026 年 8 月

【1 分解説】次期マイナンバーカードとは？

政策調査部 フェロー 谷口 智明

次期マイナンバーカードとは、2016 年 1 月に交付が始まった現行カードを、安全性と利便性の両面から刷新する後継カードです。2026 年 7 月に閣議決定された「デジタル社会の実現に向けた重点計画」では、より強固な暗号方式を備えたカードとして、2029 年度中の導入を目指す方針が示されました。

券面は、文字の読みやすさや表裏の判別、偽造防止、ユニバーサルデザイン等に配慮して見直されます。2024 年に政府が示したデザインイメージでは、氏名やフリガナを見やすく配置し、性別は IC チップに記録して券面には表示されない案となっています。また、生年月日の西暦表記や氏名のローマ字表記も検討されています（資料）。ただし、具体的な仕様や現行カードからの移行方法は、今後さらに詰められます。

現行カードの電子証明書は、年齢にかかわらず発行から 5 回目の誕生日まで有効ですが、次期カードでは、発行時に 18 歳以上の人はカード本体に合わせて原則 10 年、18 歳未満は 5 年とする案が示されています。電子証明書は、マイナポータルや e-Tax へのログイン、住民票の写し等のコンビニ交付、マイナ保険証による保険資格確認などに使われます。更新回数が減ることで、利用者と自治体の手続負担が軽くなるほか、更新忘れによる期限切れの減少も期待されます。

資料 次期マイナンバーカードのデザインイメージ



(注) 2024 年 3 月に公表された検討段階のデザインイメージであり、最終確定した券面ではない。

(出所) デジタル庁「次期個人番号カードタスクフォース(第 4 回)」参考資料「次期個人番号カードのデザイン(イメージ)」より抜粋

関連レポート

- ・「期限切れの健康保険証、2026 年 8 月からは使えない～受診前に確認したい「マイナ保険証」「資格確認書」「電子証明書」～」(2026 年 7 月) <https://www.dlri.co.jp/report/asset/634660.html>